「全国研 in 埼玉」実行委員会にゅ～す vol.3

10月6日（土）全体会　at さいたまスーパーアリーナ（さいたま市）
10月7日（日）分科会　at　獨協大学（草加市）

# あと84日!!

## 準備はここまで来た！各部最新レポート!!

「全国研in埼玉」実行委員会には3つの部会があります。各部には仕事の内容に合わせて作業班があります。名前と主な役割を紹介します。詳しい内容は実行委員会資料をご覧ください。

### 企画部：様々なイベントの案を検討して実施できるようにする部会。

**1)歓迎行事班：**公式行事が始まるまでの時間を使って、「ようこそ埼玉へ！」をあらわすために埼玉らしさを前面にステージパフォーマンスを計画し実現する。おおいに参加者をひきつけ盛り上げたい。

**2)交流会班：**全体会の後、北は北海道、南は沖縄まで全国からの参加者同士（常連客も多い）の交流の場所を作り出す。予算内（1500円）でどうやって空腹と飲欲を満足させるかがポイント

班員から：全国研参加は初めてですが、地元で行うことにより実行委員会から参加ができました。交流会班長を務めさせて頂き、創る楽しさと苦労の両面を体験しています。
当初、会議の参加者はとても少なく大変でした、最初の壁は会場探しと予算でした。300人近いゲストを迎える会場と、その方々に満足して頂ける料理と飲み物が提供できるかが問題でした。現在は多くの参加者があり、多彩なアイデアと協力により、急速に話がまとまってきています。
今後も『おもてなしの心』をキャッチフレーズに一致団結して成功に向けて、頑張っていきたいと思います。（岩淵）

**3)保育班：**保護者の参加を保障するために大規模な保育場所を設置して楽しい、安全な保育を計画、実行する。さいたま中心部でも広い場所を確保したい。（コメントは次号で掲載）

**4) 記念品班**：参加者全員に小さなお土産をプレゼント。気持ちを伝える手作り等

**5)埼玉紹介班：**埼玉県の学童保育の様子を伝える展示を計画中

班員から：記念品担当班と埼玉紹介班は実行委員としての人数がなかなか集まらず、ついに合同班として動こう！ということになりました。
記念品担当としては、全国の学童保育関係者に全国研の記念として『もらって嬉しい物・使える物』というコンセプトで県内の学童保育の指導員と子どもたちに作品を作っていただくことをお願いしています。記念品担当班の成功のためには、県内の指導員の皆さんの知恵や力をお借りして、いかに素敵な作品がたくさん集められるかにかかっていると思います。
そして、指導員・子ども達の心のこもった手作りの品物を、全国の皆さんの手元に無事に届けられるよう、ラッピングにも心を込めて丁寧に扱っていこうと思っています。
埼玉紹介としては、会場の下見に行き、会場の中にどのように紹介パネルを置くかなど何度も何度も試行錯誤を繰り返しています。当日はアリーナの大型スクリーンで、紹介班で作成した埼玉の紹介VTRを流すことになっています。素敵な仕上がりになりました。埼玉紹介班の成功のためには、紹介パネルをどのように配置し、見やすく出来るかということにかかっていると思います。
そのためにみんなで知恵を絞って案を出し合い、あれやこれやと考えている最中です。

両班の簡単な説明は以上ですが、全ては全国研に来ていただいた皆さんに『埼玉に来てよかった』と思ってもらえるように、気持ちを込めて残りの日程も力を出し合っていきたいと思います。
あってよかった学童保育！来てよかった埼玉県！！を目指して頑張りましょう。（浜田）

埼玉紹介班
埼玉県をいろんなかたちで参加者に紹介していく為に準備を進めています。
紹介の1つ目は、全体会のさいたまスーパーアリーナには大型スクリーンがあるので、県内の各地域で盛んなお祭りや、観光名所、食文化などをDVDにまとめてスクリーンで上映する準備をしています。2つ目は、パネルを作成して会場に展示する為に、県指連協の各沿線ブロックに学童紹介をお願いしています。
埼玉らしさをアピールできるようにと試行錯誤しています。会場の下見を終えてパネルのレイアウトをどのようにしていくかを今思案中です。
パネルについては、展示の仕方でいろんな案がボツになり四苦八苦しましたが、何とか前が見えてきました。でも、まだまだ参加協力者は募集中です。
（伊藤）

**6)Tシャツ班：**「全国研in埼玉」を記念して特注オリジナルTシャツ（みけっちTシャツ）実行委員は青色、要員さんは緑色を全員着用したい。

班員から：要員のみなさんに「これを着てご一緒に頑張りましょう」と、Tシャツを差し上げたいと作成を始めた、Tシャツづくり。やはりここは、坂内さんのみけっちしかないと、すぐにモチーフは決まりました。しかし、作成のgoサインもなかなか出ず、デザインやチラシを完成させるまでにも、何度も直しが入りみなさんに大変な思いをさせてしまいました。
ただ、このことを通して、自分が何かをしたいと発信したことに、こんなにも多くの方々が力を貸して下さり、見守ってくださったことが本当にありがたく、得難い体験でした。
Tシャツ作りの醍醐味は、様々な才能を持った人たちの力が結集しているということかな。その中で、オロオロしているだけの自分って！本当に情けなかったです。 あとは一般販売のTシャツを完売させることに、全力を尽くします。わたしの全国研in埼玉は、Tシャツに始まりTシャツに終わるような、気がしてきました。（ながくら）

**7)着ぐるみ班：**所沢の岩崎指導員さん製作のミケッチ着ぐるみ、埼玉県ゆるきゃらのコバトンを全員着用　特別チームにて適時登場させる。
班員から：一番嬉しかった瞬間は坂内先生に「good　job！」と言ってもらったときです。できるだけ原画に忠実にかわいく！をめざして作っていましたが、やはり着ぐるみの命は「目」。大きさや位置を坂内さんに決めてもらったことでより原画のミケッチに近づきました。
特にこだわったのは耳の形や位置や曲がり具合。それからヒゲ。子どもたちが近づいても危なくなくて、ピンとさせるにはどうしたらいいかはいろいろアイデアを出しあいました。みんな職人さんのようなこだわりをもって制作にあたりました。これからけん玉とか小道具も増やしていく予定です。面白いアイデアやミケッチ着ぐるみ活用法があったらお知らせください。ミケッチをよろしくにゃ。（岩崎）

**8)お弁当班**
班員から：こんばんは。お弁当係り、豊田です。お世話になります。
お弁当係りの仕事は、皆さんに美味しいお弁当を提供する。このことが最大の仕事です。研修で疲れた頭をほぐしてもらえるような、また、皆さんの心に残るようなお弁当を提供できたらいいな、と思っています。
お弁当係り、また、係り以外でも協力してくださる方たちとともに美味しいお弁当のために、頑張りたいと思います。
（豊田）

### おざわのひとりごと

前回、全国研に参加するのに「わが子の保育」をどうするか、保護者会で話し合ったことがある。何のことはない、いつもの土曜保育に子どもたちを預け、残った保護者と指導員で見てもらった。そして、次の日は交代。これも一つの支えだと思った。
今回も、保育の状況から、同じ悩みに頭を抱えることになりそうだけれど、各保護者会で土曜保育を手厚くし、たくさんの参加者を送り出すのはどうだろう。是非話してみて欲しいと思う。期待を込めて・・・（小沢）